平成 28 年 10 月 6 日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

本公募は、文部科学省「平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）」（優れた若手研究者の採用拡大支援）事業（平成28年10月採択予定）の計画に基づいて行うものです。同事業は、「国立大学改革プラン」において、優秀な若手研究者の力で大学力を強化するため、全学的視点による戦略下で中長期的な若手研究者の採用拡大を目指す組織的な取り組みについて、集中的・重点的支援を行うことを目的として、優秀な若手研究者ポストの積極的な確保を促進しようとするものです。なお、同事業が採択されなかった場合でも、当該教員公募はここに示されている形で実施いたします。

1. 職名・募集人員

助教・1名

2. 任期

採用日から5年間の任期付教員とします。ただし、最終年度前期までの業績評価によっては、契約期間の定めのない教員（承継職員）とすることがあります。

3. 給与

年俸制（国立大学法人三重大学年俸制適用教員給与規程適用）

4. 所属

生物資源学研究科・資源循環学専攻・農業生物学講座・植物医科学教育研究分野

5. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

資源循環学専攻では、生物資源を効率良く、環境に優しい方法で循環利用するための研究や技術開発を行い、新しい社会をデザインできる人材育成、調和の取れた循環型社会の構築を目指して教育・研究を行っており、農業生物学講座、森林資源環境学講座および国際・地域資源学講座の3つの講座から構成されています。農業生物学講座では、農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持に役立てることを目的として、教育・研究を行っています。

その中で、植物医科学教育研究分野では、将来、植物医師として植物病害の診断、防除指導ができる人材を育てる事を目標に教育を行っています。研究面では、植物病害の原因となる微生物（主に菌類）の分類、多様性、系統、進化について、顕微鏡を使った形態学的方法、遺伝子解析等の分子生物学的方法を併用して研究を行っています。

6. 担当予定授業科目

（学部）卒業研究、フィールドサイエンスセンター体験演習、植物保護学、植物病理学、資源循環学演習、フィールドサイエンスセンター農場実習、農業生物学実験など
大学院の以下の授業を分担していただくことがあります。

（大学院博士前期課程）農業生物学特別研究I・II、植物感染学特論、植物感染学演習など
（大学院博士後期課程）特別演習、特別実験、特別調査研究 など

7. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、学生の指導に熱意を持って取り組めること。また、実験・実習と講義・演習（植物医科学分野）が担当できること。
- (2) 植物病理学または菌学に関する優れた研究実績を有すること。とくに、植物病害の診断や防除技術に関する研究実績があることが望ましい。
- (3) 専門分野に留まることなく、研究科内及び県内研究機関等との分野横断的共同研究に積極的に取り組む意思があること。
- (4) 地域圏大学としての三重大大学の目標を理解し、産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。
- (5) 平成29年3月31日現在で39歳未満の方。

* 文部科学省「平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）」（優れた若手研究者の採用拡大支援）事業のため、雇用対策法施行規則第1条の3第1項例外事由3号二に該当、同事業の年齢制約に基づき、応募条件を設定しています。詳細は、三重大学生物資源学研究科チーム総務担当(Tel:059-231-9626, E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp)までお問い合わせください。

* 男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

8. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付；高等学校卒業以降の学歴，職歴，学位取得年月日と論文題目，所属学会，その他学会賞などの受賞歴，資格など）
- (2) 業績目録（原著論文，著書，総説，その他について，項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）
原著論文については，自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添え，さらに査読制度の有無を記載し，責任著者（corresponding author）には*を記載すること。
- (3) 上記業績目録に掛かる現物もしくは別刷（コピー可）（代表的なもの5編以内）
- (4) 科研費等の外部研究費獲得実績一覧（科研費とそれ以外に項目を分け，それぞれについて代表・分担を明記のこと。）
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの研究活動に関する概要（1,000字程度）。業績目録（2）の原著論文の整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1,000字程度）
- (10) 応募者の連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
- (11) 応募者に関する照会先（2名：氏名，所属，役職，電話番号，電子メールアドレスなど）

なお，選考後応募書類はお返ししません。

9. 応募期間 平成28年10月6日（木）～平成28年11月7日（月）（必着）

10. 選考方法

書類審査を主としますが，選考の過程で面接を行う場合があります。面接の場合の旅費は，自己負担となります。

11. 着任時期

平成29年3月1日

1 2. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻

専攻長 教授 山田 佳廣

(持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「資源循環学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと)

1 3. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 農業生物学講座

講座主任 教授 梅崎 輝尚

TEL : 059-231-9486

E-mail: umezaki@bio.mie-u.ac.jp

1 4. 参考

農業生物学講座教員一覧 (平成 28 年 10 月 1 日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子遺伝育種学	掛田克行	諏訪部圭太	
資源作物学	梅崎輝尚	長屋祐一	
園芸植物機能学	平塚 伸	名田和義	
動物生産学	松井宏樹	伴 智美	
草地・飼料生産学		近藤 誠	
植物医科学	高松 進	中島千晴	【本公募】
昆虫生態学	山田佳廣	塚田森生	
野菜ゲノム育種学 (連携大学院)	齊藤猛雄 大西 純 布目 司	柿崎智博	

生物資源学研究科のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp>

資源循環学専攻のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/index.html>

植物医科学教育研究分野のホームページ

http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/rikuken/lab5/Index/_Index.html

以上